

2019年6月23日(日)  
スーパーフォーミュラ 第3戦 決勝  
スポーツランド SUGO

決勝結果

#64 : 13位  
#65 : 14位

決勝概要

- ・ 前半は淡々としたレース展開だったが、残り 10 数周となったところでコースオフ車両があり、セーフティカーが 2 回続けて導入される
- ・ 64 号車パロウはスタートこそ順位を落としたが、粘り強く周回しポジションを上げたが、2 回目の SC 明けのスタート時に違反があり 13 位
- ・ 65 号車牧野はピットインまでは順調にポジションを上げて走行したが、ピットイン後にマシンのトラブルに見舞われ再度のピットインを強いられる
- ・ レース後にピットアウト時のホワイトラインカットのペナルティが加算され 14 位

コメント

総監督：中嶋 悟

「途中までは順調でしたが、ピットイン後から歯車が狂い出してしまい・・・牧野は原因不明のトラブルで、パロウはリスタート時のフライングでポジションを守ることができませんでした。シリーズも中盤戦に入り、ここまでを見直して次戦に臨めるようにしたいと思います。たくさんのご声援をいただき、ありがとうございました」

## #64 : アレックス・パロウ

「It had been a difficult race weekend. We decided to start the race with soft tyres but I got stuck behind cars on medium tyres, so I could not gain positions. During the race I got lucky that we had SC, which made our pit stop really quick. Then, unfortunately I did overtaking at SC restart and was penalized, which cost us the result of finishing P5 taken away. We have 2 weeks to focus on Fuji, our home race, and we will work for Fuji 100%.」

「難しいレースの週末でした。ソフトタイヤでスタートすることを決めたのですが、ミディアムタイヤの車両に詰まってしまいポジションを上げられませんでした。レースでは幸運にも SC 導入がありそこで素早くピットストップをすることが出来ました。しかし残念ながら SC 再スタートの際に追い越しをしてしまい、ペナルティを受けてしまって、5 位フィニッシュがなくなっていました。私たちのホームレースである富士戦までの 2 週間は集中して、100%の力を注いでいきます」

## #65 : 牧野 任祐

「ソフトタイヤでのスタートを選び、最初はペース良く走れて、中盤に調子が落ち、また調子が戻ってピットストップでミディアムタイヤに交換すると走行が困難になってしまいました。飛び出しもあって再度ソフトタイヤに交換すると、また調子が戻ったのですがそこで終わってしまいました。これまでチャンスはありそうで結果に繋がっていないので、今はまだ気持ちの整理がつかませんが、次回頑張ります」

※次戦は 7 月 13 日・14 日に富士スピードウェイで行なわれます。